

第1学年 国語科学習指導案

研究主題

「読み解く力」の育成 ～NIEの活用を通して～

1 単元名 「子どもをまもるどうぶつたち」（『新しい国語 一下』東京書籍）

2 単元の目標

二つの動物の説明を比べて読み、似ているところや違うところを見つけて共有することができる。

【知識及び技能】

- ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。【(1)ク】
- ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。【(2)ア】

【思考力、判断力、表現力等】

- ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。【C(1)ウ】
- ・「読むこと」において、文章を読んで分かったことを共有することができる。【C(1)カ】
- ・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。【B(1)ア】

【学びに向かう力、人間性等】

- ・これまでの学習や経験で気付いたことやできるようになったことを生かして見通しをもち、積極的に、文章を読んで分かったことを共有し、伝え合おうとしている。

3 単元の評価規準

| 観点 | 知識・技能 【知・技】 | 思考・判断・表現 【思・判・表】 | 主体的に学習に取り組む態度 【主】 |
|-----------------------------|--|--|---|
| 単元 の 評 価 規 準 | <ul style="list-style-type: none"> ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 ・「読むこと」において、文章を読んで分かったことを共有している。 ・「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習や経験で気付いたことやできるようになったことを積極的に生かそうとしている。 ・単元の見通しをもって学習課題に向かい、文章を読んで分かったことを伝え合おうとしている。 |

4 目指す児童像

教科書を正しく読み取り、聞かれていることに対して文章の内容の大体について理解し、学んだことを生かして、自分の言葉で表現することができる児童。

5 仮説

教科書や新聞記事、図書資料などの様々な文章や図表などから、自分の分かったことを文で表す活動に取り組ませることにより、「読み解く力」を身に付けさせることができるであろう。

6 指導観

(1) 単元について

児童はこれまでの学習で、比較する説明文を読んだり、観点ごとに読み取ったりする学習をしている（1学期は「さとうとしお」）。その経験をもとに、本単元では、二つの動物について大体的内容を読み取ったうえで、共通する観点で比べ、分かったことをまとめたり述べたりすることをねらいとしている。今後のさまざまな思考活動の基盤として、本単元の学習を通して「くらべてかんがえる」力を身に付けさせたい。

(2) 児童について

(3) 教材について

本教材は、「問い」「答え」「まとめ」の構成を持ち、二つの動物の特徴や子供の守り方の違いについて述べている文章である。動物の生態への興味・関心を引き出しながら、「言葉の力」に沿った学習が展開できる。本単元の最後には、自分の選んだ本や資料から「動物紹介カード」を作る。カードは、本教材で読み取る3つの観点に沿ってまとめる。そこで、「オオアリクイ」「コチドリ」の読み取りをする時間の最後には、自分の言葉でまとめる時間を設け、紹介カード作りに繋げていく。まとめることについては、「(2) 児童について」で記述したように、「いろいろなふね」で取り組んでいるが、経験は少ないため時間をしっかりと確保して説明をし、支援を要する児童への声かけを大事にしていく。

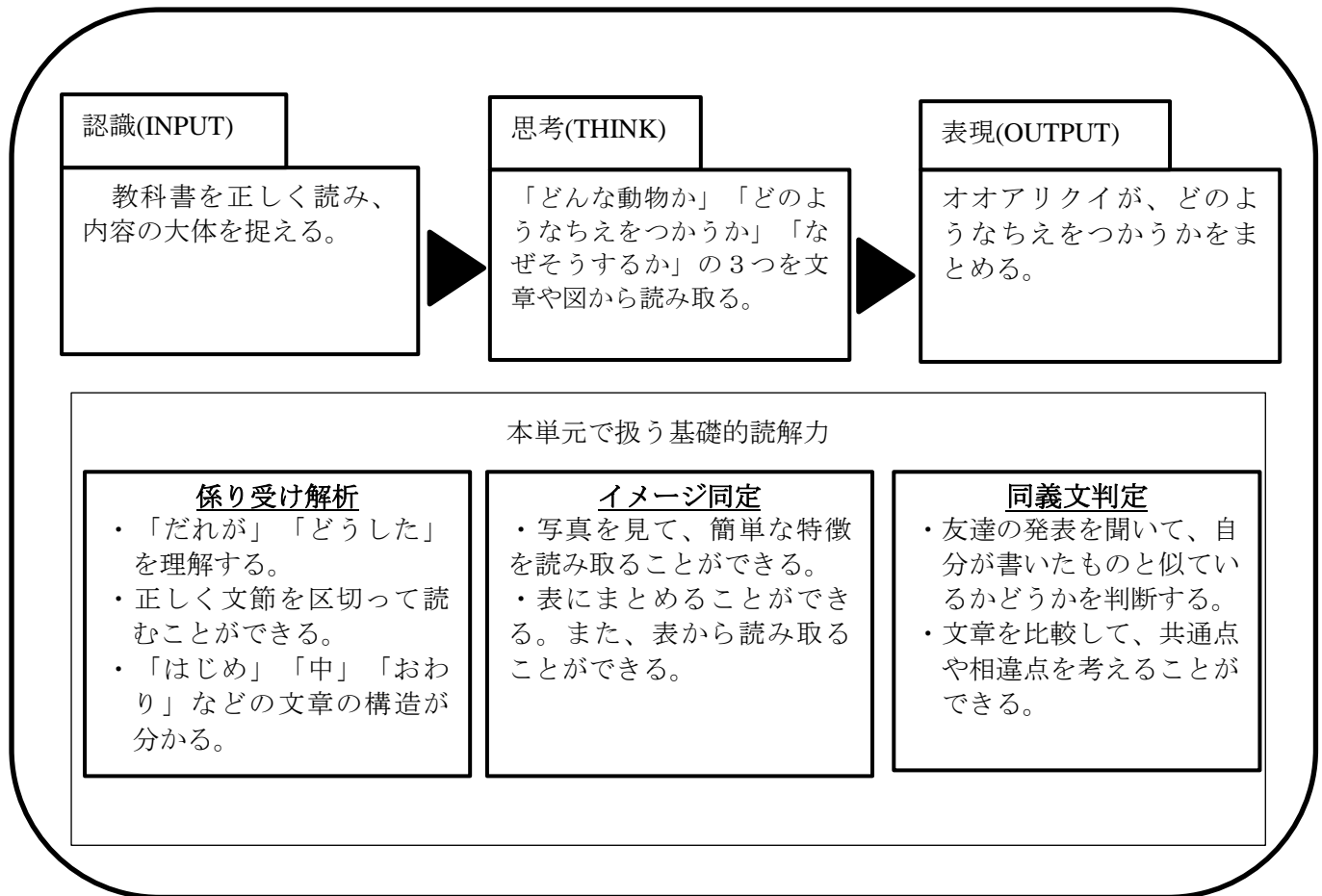
本単元での「共有」については

- ① 読み取ったことを、グループで表にまとめる。
- ② 感想や考えを書いたものを読み合ったり発表したりする。

とする。

7 研究主題に迫るための手立て

(1) 「読み解く力」を身に付けるための指導の工夫



(2) N I Eの活用

これまでN I Eタイムでは、以下の活動を進めてきた。

- ① 新聞記事から、自分の好きな・興味をもった写真や絵を切り取る活動 (資料1)
- ② 新聞記事の写真を見て、「何があるから」という理由を考えて言葉と繋げる活動 (資料2)
- ③ 新聞記事からカタカナを見つける活動 (資料3)
- ④ 1年生でも読めるようにした新聞記事を用意し、社会で今何が起きているかを知り、記事を読んだり写真を見たりして質問に答える活動 (資料4)

説明文には、文章の内容を分かりやすくするために写真や図が使われることが多い。本単元でもそれは同じであり、本時で扱う段落内にも「オオアライクイ」が子どもを背中に乗せる写真が使われている。その写真が文章のどこを分かりやすくしているかを見つけるために、②や④の活動を2学期では増やしている。

8 指導計画（全14時間）

| | ○主な学習活動 | 読み解く力との関連 | |
|-------------|---|------------------------------|--|
| | | 視点 | □指導上の留意点◆評価規準 ☆NIEの活用 |
| 1 | ○既習事項を確かめる。 ○本単元でつきたい力を確かめる。 ○どんな動物について書かれた文章なのかを確かめながら音読する。 | 係り受け 解析 | ◆知 これまでの学習や経験で気づいたことやできるようになったことを生かして見通しをもとうとしている。 □動物についての経験や知識を引き出しにくい場合には、1学期に学習した説明文「どうやってみをまもるのかな」の内容を思い出させて発表させる。 |
| 2 | ○全文を音読し、初めて知ったことや興味を持ったことを話し合う。 ○どんな動物が出てきたかを確かめ、内容の大体を捉える。 ○文章全体の話題は何かを確かめる。 | 係り受け 解析 | ◆知 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 □文章の最初に話題提示の文があることを、「いろいろなふね」を参考に確かめさせるようにする。 |
| 3 (本時) | ○「オオアリクイ」の文章前半を読み、体の特徴を読み取る。 ○「オオアリクイ」の文章後半を読み、子どもを守るための知恵を読み取る。 | 係り受け 解析 イメージ 同定 | ◆思 文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 □書いてあることを段落ごとに押さえていく際には、「いろいろなふね」での学習を踏まえさせるようにする。 |
| 4 | ○「コチドリ」の文章前半を読み、体の特徴を読み取る。 ○「コチドリ」の文章後半を読み、子どもを守るための知恵を読み取る。 | 係り受け 解析 イメージ 同定 | ◆思 文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 □書いてあることを段落ごとに押さえていく際には、「いろいろなふね」での学習を踏まえさせるようにする。 |
| 5 | ○まとめの段落に書かれていることを読み取る。 ○文章全体の構成を確かめる。 | 係り受け 解析 | ◆思 文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 □①段落の内容、「オオアリクイ」、「コチドリ」、⑩段落の内容が書かれたカードや短冊を操作して、どのように分けられるかを考えさせる。 |
| 6 ・ 7 | ○2つの動物について、表にまとめる。 | イメージ 同定 | ◆知 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 □表に抜き出された言葉から、それぞれの動物について、書かれていることを観点ごとに捉えられているか確認する。 |

| | | | |
|---------------|---|-----------------------------|--|
| 8 ・ 9 | ○2つの動物を比べて、相違点、共通点や類似点を考えて、気づいたことを話し合う | イメージ 同定 同義文 判定 | ◆知 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 □本文の叙述を用いて説明させるようにして、本文の叙述に注目して共通点や相違点を考えようとしているかを確認する。 |
| 10 ・ 11 | ○事前に選んだ動物の知恵について書かれた本や資料を読む。 ○調べたことを紹介カードにまとめる。 | 係り受け 解析 | ◆思 選んだ本や資料から書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 ◆主 これまでの学習でできるようになったことを生かして、積極的に文章を読んで分かったことを紹介カードに書こうとしている。 □本や資料に書かれたことから、それぞれの動物の知恵を読み取りにくい場合には、分かりやすくリライトした文章を用意する。 |
| 12 | ○自分の書いた紹介カードをグループで発表する。 ○自分の発表や友達の発表を聞いた感想を書いて発表する。 | 係り受け 解析 | ◆主 自分の書いた紹介カードを読んで、友達に動物の知恵を伝えようとしている。 □調べたことを発表させる前に、どんなことを伝え合わせるのかという意識をもたせる。 |
| 13 | ○教材文に挙げられていた「知恵」と調べた動物の「知恵」とを比べる。 ○調べた動物の知恵同士を比べて考える。 | 同義文 判定 | ◆知 共通、相違など情報と情報との関係について理解している。 □比較しやすいように、同じ種類同士や、似た生活をしている動物同士、共通項で括ることができる動物同士を比較させられるグループ編成にする。 |
| 14 | ○前時に調べて分かったことを発表する。 ○単元の学習を振り返って、どんなことが分かったか、どんなことが身についたかを、ノートにまとめる。 | 係り受け 解析 | ◆主 これまで学習したことを思い出し、「くらべてかんがえる」ことのよさを自分の言葉でまとめようとしている。 □「くらべてかんがえる」という「言葉の力」が、具体的にどんなときに役立ちそうかを考えさせ、活用への意識を高めさせる。 |

9 本時の学習（3 / 14）

(1) 本時の目標

「オオアリクイ」の内容を読み取り、適切な語句を書き出すことができる。

(2) 展開

| | ○主な学習活動 ・ 予想される児童の反応 | □指導上の留意点 ◆評価規準（方法） ※読み解く力との関連 ☆N I Eの活用 |
|-----------|---|---|
| 導入 5分 | ○前時の学習を振り返る。 ○オオアリクイの写真を見せる。 | □教科書に出てくる2種類の動物（オオアリクイ・コチドリ）を確認する。 □「動物紹介シート」を作成するという単元のゴールを確認し、本時の目的意識をもたせる。 |
| 展開 30分 | ○本時のめあてを確認する。 | □挙手した3名が読んだ後、全員でめあてを2回読み、本時で何を読み取るのかを理解する。 ※係り受け解析 |
| | <p>オオアリクイの「こどもをまもるちえ」をよみとって、シートにまとめよう。</p> | |
| | ○教科書 P. 102 L. 5～P. 103 L. 10までを音読する。 ○オオアリクイの特徴や「できないこと」を確かめる。 ・ながいしがある。 ・アリやシロアリをたべる。 ・口がほそながい。 ⇒子どもをくわえてはこぶことができない。 ○オオアリクイの写真を見せて、何が見えるか、気付いたことを発表する。 ○教科書 P. 104 L. 1～L. 9までを音読する。 ○オオアリクイがどのようなちえを使っているのか確かめる。 ・子どもを背中にのせる。 ・親の体の模様と子どもの体の模様が違って、目立たなくなる。 ○教科書 P. 104のオオアリクイの写真と文章を線で結ぶ。 | □文節を意識して、正しく音読をさせる。 ※係り受け解析 □「オオアリクイは、…です。」という文に注目させ、体の特徴について書かれていることを押さえる。 ※係り受け解析 □「…ので」という言葉が理由を表す表現であることを定義付ける。 ※同義文判定につなげる。 □自由に気付いたことを発表させ、どのように子供を守るのか興味をもたせる。 □⑤段落が、「なぜそうするのか」という理由になっていることを押さえる。 ◆文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。【思・判・表】 □写真をよく見て、「何が、どうしているか」を読み取り、教科書本文と照らし合わ |

| | | |
|------------|--|--|
| | | せる。 ※イメージ同定 |
| まとめ 10分 | <p>○オオアリクイは、子どもを守るために「どんなことをするのか」「それはなぜなのか」を自分の言葉でまとめる。</p> <p>○書いたまとめを発表する。</p> <p>○本時の振り返りをする。</p> | <p>□「オオアリクイは、・・・して子どもを守ります。それは・・・からです。」という文型を提示して文章にまとめさせる。</p> <p>※係り受け解析</p> <p>□友達の発表を聞いて、自分の書いたまとめと似ているかどうかを確かめさせる。</p> <p>※同義文判定</p> <p>□導入部で扱った写真は新聞のものであることを伝え、新聞への興味をもたせる。</p> |

【授業を見る視点】

(1) 「読み解く力」を支える基礎的読解力を伸ばすための指導の工夫について

授業者の声かけやワークシートが、係り受け解析やイメージ同定を生かすことにつながるものであったか。

(2) N I E の活用

導入で扱った写真を見て考える活動や写真そのものが、N I E タイムの成果が出ていたか。また、これからの活動の意欲につながるかどうか。